

議事要旨

1. 報告について

- (1) 西原町地域公共交通協議会規約等の制定について（資料1）
- (2) 副会長及び監査委員の指名について

ご意見・ご質問	事務局
意見なし	-

2. 議題について

- (1) 令和7年度予算（案）について（資料2）

⇒令和7年度予算について出席委員全員より承認をいただいた。なお、ご意見・ご質問は以下の通りである。

ご意見・ご質問	事務局
[沖縄県ハイヤー・タクシー協会大城委員] 異論なし。次年度の予算案の提示の際は、対前年度の比較ができるような予算書の構成をお願いしたい。	次年度以降、前年度予算と比較できるような構成とする。

- (2) 西原町地域公共交通計画策定に向けた進め方について（資料3）

⇒西原町地域公共交通計画策定に向けた進め方について、出席委員全員より承認をいただいた。なお、ご意見・ご質問は以下の通りである。

ご意見・ご質問	事務局
[商工会会長 下地委員] 公共交通を行政主体で取り入れているところについては、様々な課題等があるかと思われるが、そのような事例の情報収集等についても行っていく予定か。	周辺市町村の交通施策は非常に重要と考えているため、隣接市町村での検討会議や、よりよい事例などについては直接出向いて事例の情報収集を行いたいと考えている。 周辺市町村ではコミュニティバスや、福祉バスの運行を行っているが、どのような状況かを調査し、西原町ではどのような形で取り入れていけるのか協議会等にて確認しながら進めていきたい。
[老人クラブ連合会会長 平安委員] 西原町は道路網の整備が遅れており、慢性的な交通渋滞が発生している。そのため、どの道路が混むのか実態調査をしたうえで、整備の優先順位を検討していただきたい。また、美咲という地区のバス停名称が「試験場跡地」という名称になっており、わかりづらいためバス停の変更をしていただきたい。	西原町では鋭意、道路整備事業を進めているところであるが、予算などの課題があり思うように進捗していない現状がある。予算を確保する上で優先順位を決めて進めているところであるため、ご理解をお願いしたい。資料中にも記載しているが、主要渋滞箇所は毎日道路交通情報で渋滞状況を報じられる状況となっている。これらを解消するためにどのような施策を展開していくか今後、検討していく必要があると考えている。
[沖縄県バス協会専務理事 慶田委員] 令和7年度事業計画案について確認したい。路線バス利用者ヒアリングとあるがこういった手法	路線バス利用者の調査は、バス停にてバスを待たれている方に対し、ヒアリングを行いたいと考えている。どのような時間帯に実施するか等詳細については今後検討し、次回

ご意見・ご質問	事務局
<p>で行うか、事務局として想定しているものがあるか。</p>	<p>の協議会にてご報告させていただきたいと考えている。</p>
<p>[町民公募 照屋委員] コミュニティバス等を運行するに当たっては、何人乗りのものを想定しているかなどバスの規模で検討しているものがあればご教示いただきたい。</p>	<p>西原町におけるコミュニティバス等の導入については、決定したものではなく、今回の計画の中で課題等を整理し、どのような施策が西原町に適合するかという点を、検討していきたいと考えている。そのため、現状はまだ想定しているものはない。</p>
<p>[琉球大学教授 神谷副会長] ・バス停の位置がずれていると思われるため、今後、精査願いたい。 ・サンエー西原シティは国道沿いの立地で公共交通の結節点としての可能性についても検討していただきたい。 ・てだこ浦西駅、幸地インターチェンジに係る結節点の議論については、県の方でも進めている所だと思われることから、連携しながら取り組んでいただきたい。 ・シェアサイクルについては、事業者（オープンストリート）よりODデータを取得し、それを踏まえた上で施策等の検討を行うとよい。 ・ビッグデータについては、取得する会社でサンプル数が異なるため、西原町にとって有益なデータであるかは確認しながら取り組んでいただきたい。 ・周辺市町村連携会議の件ですすでに中部広域での話し合いもされていると思われる。その中で西原町はどのような立場であるかも含め次回報告いただきたい。</p>	<p>今後、業務を進めていく中で検討していきたい。</p>
<p>[観光まちづくり協会会長 近藤委員] きらきらビーチ周辺には、公共交通機関が運行していないため、観光客の方はレンタカーかタクシーで訪れる方が多いが、最近では国道でバスを降りて徒歩で来られる方も増えている。そのような方の需要も考えると、ニーズ調査は年間を通したデータを取ったほうが良いのではないか。現在示されているスケジュールは、オフシーズンでの調査になることが想定される。</p>	<p>観光需要の把握については時期にも関わるため、適切に把握できるよう検討する。</p>
<p>[社会福祉協議会会長 新垣委員]</p>	<p>社協の皆様には、高齢者等の買い物支援も含めたの事業を</p>

ご意見・ご質問	事務局
<p>社協では自力での移動が困難なお年寄りの買い物を支援するために、現在池田地区や森川地区にて送迎サービスを行っている。しかし買い物に限った用途としており、地区も限定していることから、その他の用途や他の地域から、利用範囲を拡張してほしいとの要望が非常に強い状況である。これらの要望に応えるには社協だけでは人員的に厳しい。周辺市町村ではすでに公共交通の住民サービスを行っていて、西原町では今年度から計画に着手するとのことだが、計画ができて運行するというのでは、あと2年後ということになるのでだいぶ遅れての実施となる。早めに交通の支援が必要な方への事業が展開できるよう検討していただきたい。</p>	<p>展開いただき感謝している。今回計画を検討していく中で、しっかりとニーズを把握し、持続可能な交通体系の構築をしていきたいと考えている。</p>
<p>[総合事務局運輸部企画室長 亀谷委員] 住民の活動を支えるためには、公共交通がどうあるべきかという視点をもって、整理していただくとよい。また、県の方で圏域別の会議を行っている所であるが、自治体が主体的に連携していくことはよいことであるため、そのような考えで展開していけたらよい。</p>	<p>総合事務局にもご協力いただきながら検討を進めていきたい。</p>
<p>[自治会長会会長 新里委員] 自治会長をやっているが、西原町では公共交通の充実度に地域差があると感じている。西原町では10年程前にコミュニティバス実証実験をモノレール首里駅までの経路で行っていたが、運行には至らなかった経緯がある。本協議会で検討していけたらと考えている。 また、西原町に限ったことではないがタクシー運転手の交代の時間帯、17時から18時頃は、配車を依頼しても捕まらないことが多く困ることが多くある。西原町はバス利用するには距離がある地域もあるので、この時間帯をどうすれば解消できるかも考えていけたらよい。</p>	<p>実態把握等についても、今後調査をし、解決策について検討していきたい。</p>
<p>[町民公募 大城委員 (WEB 参加)] ※会議後にメールにていただいた御意見 ・都市計画マスタープランとの関係について、すでにされている議論と、そこにはない議論 (コミュ</p>	<p>御意見を参考にさせていただき、検討を進めていきたい。</p>

ご意見・ご質問	事務局
<p>ニティバスなど)を峻別するとわかりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般には高校生がバス利用者のボリュームゾーンになるため、高校生(と中学生)の通学パターンも綿密に把握していただきたい。高校生は他市町村への通学も珍しくないため、越境通学の実態把握をし、スクールバスでは補えない交通需要をどうするか議論していきたい。 ・シェアサイクルについては、スマホの操作が難しい高齢者は身体的に自転車に乗らないのではと感じた。(そうした方に自転車でモビリティを保障することは考えにくい) ・交通弱者へのモビリティ確保(そのためのコミュニティバス等の導入)が本協議会にとって大きなテーマの一つと思われるため、コミュニティバス等の導入を議論するための検討材料をいろいろ集めていただきたい。コミュニティバスはタクシーの市場と一部競合すると思われるため、共存のあり方を議論していく必要があると思われる。 ・バス路線図について路線や運行頻度について近年変化があればその経緯をまとめていただきたい。 ・市街化区域拡大に伴う将来交通需要も考慮していただきたい。 ・サンエー西原シティとてだこ浦西間の幹線ルート強化し、ゾーンバスのようなネットワーク構造に交通網を再編するといった選択肢もなくはないかなとも感じた。 ・ビッグデータ、パーソントリップ調査について、町内だけでなく、近隣市町村も含めて人流を把握していただきたい。町是那覇や浦添のベッドタウンであるため、町外も含めた目的地を把握して計画を策定することが望ましい。また、ビッグデータは高額であるため、どういった質の情報がどこまで必要かをあらかじめ絞り込み、リーズナブルな価格のデータでR7以降も継続的に人流を把握する体制を築くほうが交通行政を進めていく上では有益であると考えている。 	

ご意見・ご質問	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ・バスに関するオープンデータを町のウェブサイトで情報提供する仕組みを作成してほしい。 ・町民アンケートについては、何をどのぐらいの精度で突き止める必要があるか、サンプルサイズは設計すべきである。パーソントリップ調査とのすみわけを行い、調査の目的・検証したい仮説を明確にしていきたい。 ・アップデート・ガイダンスについて、人口を国勢調査のメッシュ統計で見ようであるが、町役場は住民基本台帳のデータがあることから夜間人口については可能な範囲で活用できるのではないか。 ・町の計画として、排出ガス削減や交通事故減少など、やや広い社会目標を視野に入れて構想していただけるとなおよいと考える。 	